

2025 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 浅 古 有 寿
(コード番号 7832 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 辻 隆 志
(TEL : 03-6634-8800)

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年5月8日に公表しました2026年3月期通期連結業績予想数値を下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,200,000	145,000	149,000	100,000	154.51
今回修正予想 (B)	1,250,000	165,000	172,000	120,000	185.38
増減額 (B-A)	50,000	20,000	23,000	20,000	—
増減率 (%)	4.2	13.8	15.4	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	1,241,513	180,229	186,470	129,301	197.88

2. 修正の理由

2026年3月期の中間連結会計期間につきましては、IPの世界観や特性を活かし、最適なタイミングで、最適な商品・サービスとして、最適な地域に向けて提供することでIP価値の最大化をはかる「IP軸戦略」を各事業の連携により推進しました。事業面では、トイホビー事業の収益が伸長したほか、アミューズメント事業が安定的に推移しました。デジタル事業と映像音楽事業については、タイトルや作品の前年同期との構成の違いが業績に影響しました。IP展開においては、ガンダムシリーズが、最新映像作品「機動戦士 Gundam GQuuuuuuX」、大阪・関西万博における「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」出展等による話題の盛り上がりと商品・サービスの相乗効果により拡大をはかることができました。この結果、2026年3月期の中間連結会計期間の業績は、2025年8月5日に公表した予想数値を上回る結果となりました。

2026年3月期の通期連結業績予想数値につきましては、当中間連結会計期間の業績に加え、足元の市場環境や各事業の動向、第3四半期連結会計期間以降の商品・サービスのマーケティング計画等を踏まえ、2025年5月8日に公表しました予想数値を修正いたします。

以 上

＜報道機関からの本件に関する問い合わせ先＞

(株)バンダイナムコホールディングス
コーポレートコミュニケーション室
TEL : 03-6634-8787